

平成 2 0 年度事務事業評価表

作成日：平成20年9月19日

評価対象年度：平成 19 年度				管理	3-8-1-21
事務事業名 障がい者相談事業				部 等 名	生活福祉部
予算科目	会 計	科目コード	予算細目名	課 等 名	保健福祉課
	一般	01-030102008	細々目名	係 等 名	社会福祉係
政策体系	基本目標	3	共に支えあうやさしいまちづくり		
	施 策	8	障がい者保健・医療・福祉対策の充実		
	基本事業名	1	障害者の自立支援		

事業概要 実施内容	専門的立場から必要な情報提供や援助を行うために、福島県の指定を受けた事業所に委託するまた、障害者自立支援法が目指す柱の一つとして障がい者の地域生活移行が掲げられており、市としてもそれに伴う各種福祉サービスの利用に関する相談及び利用申請の受付から給付決定までを行う。 業務の委託 評価 委託料の支払い				
根拠法令等	障害者自立支援法	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業 <input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度 ~ 年度)			
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費	円	15 工事請負費	円
	7 賃金	円	12 役務費	円	18 備品購入費	円
	8 報償費	円	13 委託料	2,893,515 円	19 負担金補助及び交付金	円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合 計	2,893,515 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象 (誰を、何を)		障がい者	
手段 (事業の具体的な内容、手順等)	→	活動指標名・式 (アウトプット) 活動の大きさを表す指標	
県の指定を受けている管内の相談事業所に2市1村で委託する。また、相談支援事業所の利用促進を図るため、市の広報紙等でPRする。 ・あだたら育成園 (身体、知的) ・こここふれあいセンター (精神)		指標 (1)	名称 相談件数 式
意図 (対象を、どのような状態にしたいのか)	→	成果指標名・式 (アウトカム) 意図の達成度を表す指標	
必要な情報と必要な援助が受けられる		指標 (1)	名称 地域生活移行件数 式
事務事業を実施 (意図を実現) することで、施策にどのように貢献していますか 専門コーディネーターによる個々の障がいや生活状況に応じた適切なアドバイスが受けられ、必要とするサービスの利用調整が図られる			

(2) 指標・総事業費の推移

区 分		単位	年度 (実績)	年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	年度 (最終目標)
指標	活動指標 (1)	件				134	200	
	活動指標 (2)							
	成果指標 (1)	件				1	1	
	成果指標 (2)							
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国・県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
	一般財源	千円				2,894	2,868	
	事業費計 (A)	千円				2,894	2,868	
	職員数	人				0.3	0.3	
人件費	人件費平均額 (年)	千円				8,373	8,373	
	人件費計 (B)	千円				2,512	2,512	
	総事業費 (A+B)	千円				5,406	5,380	

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか？
平成18年4月から障害者自立支援法が施行され市が行う事業となった
この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？
特になし

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
専門コーディネーターによる個々の障がいや生活状況に応じた適切なアドバイスが受けられる。	制度上市が行う事業であるが、県の指定を受けた相談支援事業所に委託することで、専門的な助言が得られる	必要な情報と必要な援助が受けられるため妥当である
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
相談専門コーディネーターの利用促進	必要な情報と必要な援助が受けられなくなる	類似事業はない
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
相談員の人件費相当分を2市1村で負担しているため削減の余地はない	他業務を兼務し、最小人数で行っているため削減の余地はない	相談に係る受益者負担は発生しない

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	精神障がい者に係る相談件数が少ない。病院、行政と連携を図る必要がある。広報紙等でのPRも必要																							
(3) 今後の事業の方向性	(5) 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(4) 改革改善案の概要																								
精神障がい者に係る利用促進を図るため、病院、保健師等と連携を図る。広報紙等を利用して利用促進を図る																								
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策																								
精神障がい者が自ら相談支援事業所を利用することが少ないため、病院、保健師等との連携を密にすることで、ある程度利用促進が図られる																								

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果	(2) 評価結果の根拠と理由																							
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																								
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)	(4) 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																								